



1. "Aqb""w"xoM  
 "Zbxfw"tCoz&sw""q  
 t"w""Apbt"  
 "z 2mm

2. ""b"toM"b"tx"  
 hmqzwZ"asMqOApb

3.  
 4. ブレーキケーブルをそれぞれのレバーにはめ（前側）、ケーブルハウジングとインラインアジャスターバレルを通し、ダブルハウジングストップをはめ込みます。次バラシングスプリングをケーブルに通し、ダブルハウジングストップ裏側の穴に入れます。

5. A B

6. 片方の手でケーブルを支えながら親指で図2のようにアッセンブリパーツに予備負荷をかけます。メモ：バラシングスプリングに数ミリの予備負荷をかけることが必要であり、全てです。

7. "w A B  
 2mm

3mm

8. ロード用のブレーキケーブル（後ろ側）をスライディングピースCの中に挿入します。ケーブルレバーのタイコがしいかりと座ぐりの中に収まっていることを確認して下さい。タイコが穴にぴったりと合うのが理想的ですが、これは強制するものではありません。時たまケーブルの先端で（摩擦のため）発光が起こる場合があります、ヤスリで削る必要のあるものもあります。

9. ライディングピースCをスライディングピースのA、Bと図のように合わせます（図3）。

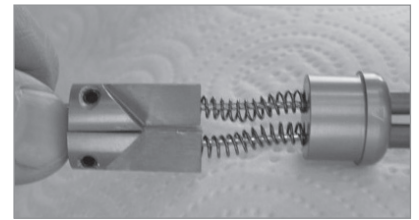
10. （任意で）少量の軽量グリースもしくはルブリカントをアウターチューブの内側に塗ります。

11. アウターチューブにロー（後ろ側の）ケーブルを通し、ダブルハウジングストップにかぶさる所まで通して行きます。矢印がお互い合うところまでアウターチューブを回転させます。

12. シングルハウジングストップの中にローケーブルを通してアウターチューブに載せます。ケーブルがスライディングアッセンブリからチューブを通ってもつれたりよじれること無く真っすぐハウジングストップから出ていることを確認して下さい。作業が正しく出来たら、シングルハウジング上の矢印はアウターチューブ上のそれと簡単に合うはずでです。ケーブルダブラーの取り付け完成形は図4を参照して下さい。

13. ローケーブルに使うケーブルハウジングを適切な長さに切り、切り口のバリを綺麗に取り除き、ワイヤーを挿入します。ローケーブルをブレーキに取り付け、ケーブルを適切な長さに切り、先にインナーキャップを取り付け、製造メーカーの取扱説明書に従って調整して下さい。ケーブルダブラーをフレームに取り付ける場合、この時点で行って下さい。

14. 組み付け後、レバーを数回引き絞って問題が無いか確認し、ケーブルの初期のびを取り、ハウジングの固定を行って下さい。2つのブレーキそれぞれのケーブルを手動もしくはアジャスティングバレルを使って出し入れし、同期を取ります。ブレーキレバーの引きしろが望む量になり、リムに当たるタイミングが同じになるまで調整を行って下さい。この調整を間違えると、片寄った制動になり操舵にロスが生じます。アジャスティングバレルを付けていない場合、ケーブルダブラーのユニットを取り外しスライディングピースのAとBの同期が取れるよう再調整する6.まで戻って下さい。



1 図2

2

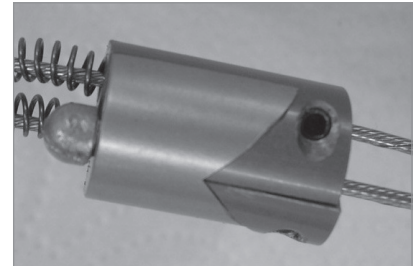


図3



図4